

環境の保全及び創造

○環境保全対策事務費

担当：総務部 市民環境課 環境係 TEL39-2308

この事業には
102万円
の予算を計上しています。

市民の皆さんが、健康で文化的な生活を営む上で必要とする良好な環境を守るため、川や空気の汚れ具合の測定を行ったり、事業所や団体、市民の皆さんが環境について話し合う機会づくり、地域での環境美化活動などの支援を行っていきます。

- 《主な取り組み》
- ・ふらの市民環境会議
 - ・環境美化運動



平成19年度 環境展

ごみの減量と資源リサイクル

○ごみ収集経費

担当：総務部 市民環境課 環境係 TEL39-2308

この事業には
9,159万円
の予算を計上しています。

富良野市内でごみ収集は、清掃事業者に委託して行っています。
ごみステーションから収集されたごみは、種類別に各施設に搬入されます。
分別の良くないごみが出されていた場合は、再度分別をしていただくために、注意を促すステッカーを貼り付け、正しい分別をお願いします。
平成20年度も、ごみの分別ルールを守り、排出をお願いします。



ごみの減量と資源リサイクル

○ごみ減量と再資源化啓発事業

担当：総務部 市民環境課 環境係 TEL39-2308

平成19年度中に富良野市で出されたごみのうち、90%以上がリサイクルされました。平成17年度末の全国平均（環境省調査）が18.2%ですから、富良野市のリサイクル率は驚異的な数値と言えます。

市民のみなさまの適切な分別がごみの減量にもつながり、また、様々な資源の保護や再利用に大きく貢献することから、ごみカレンダーやごみ分別辞典などの作成にかかる経費としての予算です。

この事業には
117万円
の予算を計上しています。



○ごみ処理の広域分担処理

担当：総務部 市民環境課 環境係 TEL39-2308

市内で収集されたごみが、効率よく処理が行えるように下記の町村と協議し、それぞれが分担する処理項目を決め、分担してごみ処理を行っています。

処理を担当する市町村には、処理を依頼する側の市町村から、その処理量に見合った負担金を支払っています。

この方法により、各市町村は処理を担当する品目の設備だけを持てばよいこととなりますので、経費を少なく抑えることができるようになりました。

この事業には
2億5,143万円
の予算を計上しています。



資源回収センター（中富良野町）

資源回収センター運営事業（負担金） 1,442万円（継続事業）

施設所在地：中富良野町

処理品目：プラスチック類、ペットボトル、空きびん

動物の死体処理施設維持事業（負担金） 97万円（継続事業）

施設所在地：南富良野町

処理品目：小動物の死体処理

衛生用品処理委託事業（負担金） 1,799万円（継続事業）

施設所在地：上富良野町

処理品目：衛生用品

富良野地区環境衛生組合負担金 2億1,805万円（継続事業）

施設所在地：富良野市

処理品目：生ごみ（し尿や浄化槽汚泥をあわせて処理）

し尿処理

○合併処理浄化槽設置整備事業

担当：総務部 市民環境課 交通生活係 Tel.39-2308

この事業には
443万円
の予算の計上をしています。

下水道整備区域外の地域の居住用住宅を対象に、炊事・洗濯・お風呂などで使われた生活雑排水とし尿を合わせて処理する合併処理浄化槽を設置する事業です。

この設置により、水洗トイレの設置が可能となりますので、家庭生活の快適性が大きく向上します。

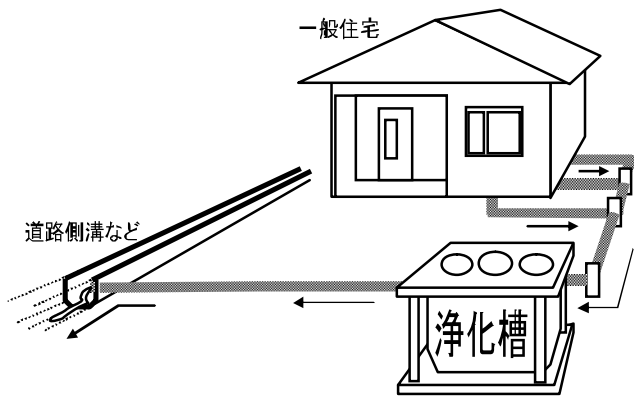
設置後は、メンテナンスを適正に行うことにより小型ながら大規模な下水道処理所と同じ浄化性能を発揮しますので、河川的环境保護にも大きく役立ちます。

設置する浄化槽工事費について、その一部を補助しています。設置する浄化槽の規模により下記の表に定める額を限度として補助します。

浄化槽規模	補助限度額	人槽算定（参考）
5 人槽	375,000 円	延床面積 130 m ² 以下
6～7 人槽	438,000 円	〃 130 m ² 超
8～10 人槽	555,000 円	2世帯住宅

国の補助 147万円
市の負担 296万円

平成20年度整備予定基数 10基
(実施期間：平成24年度まで)



総合防災

○地域防災事業

この事業には
73万円
の予算を計上しています。

担当：総務部 総務課 総務法制係（防災担当） Tel.39-2300

自然災害や事故災害から市民の生命、身体及び財産を守るため、市をはじめ防災関係機関が全力を挙げて予防、応急及び復旧等の災害対策に万全を期さなければなりません。

災害の発生を止めることはできませんが、事前に防災対策を行っておくことで、被害を軽減させることはできます。これらの具体的な施策として本年度は、①災害時要援護者に重点おいた市防災訓練（避難訓練）の実施、②地域防災計画の見直し、③防災ハンドブックの作成、④自主防災組織の結成に向けた啓発、⑤災害時要援護者の避難支援対策の検討等を行っていきます。

【平成20年度の主な事業費】

防災対策啓発資材等	21万円
避難所施設標識製作（東山支所）	16万円
防災行政無線修繕等	27万円
防災関係機関会議等	9万円



平成19年度防災訓練の様子



市対策本部

交通安全

○交通安全啓発事業

担当：総務部 市民環境課 交通生活係 Tel.39-2308

この事業には
735万円
の予算を計上しています。

安全で快適な交通社会を築くために、交通社会の一員である市民一人一人が交通ルールを守り、交通安全に心がけてもらえるように効果的な交通安全運動を組織的・継続的に展開していきます。

- 主な取り組み
- ・交通指導員50名による交通安全活動
 - ・4期40日の全国・全道交通安全運動の実施
 - ・地域交通安全運動の実施
 - ・交通安全教室の開催
 - ・音楽行進などのイベント交通指導

富良野市交通事故推移（10年間）

年 区分	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
発 生	94	66	93	104	74	77	100	80	73	59
死 者	3	3	3	7	3	2	2	1	0	3
傷 者	133	98	122	138	99	103	136	125	93	86
物 損	1,090	1,105	1,157	1,035	951	957	926	875	811	835



交通安全教室の様子



交通指導員

消費生活

○消費生活センター・女性センター運営事業

担当：総務部 市民環境課 交通生活係 Tel.39-2308

この事業には
492万円
の予算を計上しています。

消費生活センターは、消費生活の多様化・高速化・複雑化に対応して、市民の消費生活の安定と向上のため、情報の提供や苦情等に対する相談を行っています。

女性センターは、女性の生活文化の向上と社会参加を応援するため、女性団体の活動の場として会議室の貸し出しを行っています。（男性の団体も利用できます）

主な取り組み

- ・消費者モニターによる価格調査
- ・契約の解約、苦情など消費生活相談
- ・悪質な販売など不当な販売活動に関する啓発、情報提供
- ・女性センター会議室の貸し出し

○消費生活相談 322件（平成19年度）

○女性センター会議室利用状況 述べ 440団体 4,284人利用（平成19年度）

大会議室（103㎡）・中会議室（52㎡）・第1会議室（30㎡）・第2会議室（18㎡）

沿線町村の負担額	164万円
富良野市の負担額	328万円



電話での相談も行っています